

7. 計画に基づく事業推進の留意点

「水道事業基本計画(水道事業ビジョン)」の施策を実施するにあたっては、定期的に進捗状況を確認し、施策の進捗状況と併せて事業の成果や効果を把握しておくことが重要です。計画値と実績値に大きな乖離が生じることが懸念される場合には、事業推進の障害となる問題が発生している可能性もあります。

特に、企業団は埼玉県営水道からの受水による依存度が高いため、受水費の動きにより財政状況が大きく左右されます。

また、計画の基礎となる計画水量については、現時点で想定される要因(人口の自然要因と社会要因、水使用の動向や実績等)を考慮して予測したものですが、これらの要因は実績等に基づくものであり、今後の社会情勢によって大きく変化する可能性があります。

さらに、行政改革、さらなる経営効率化の要求など、事業進捗に影響を及ぼす外的・内的な要因も考えられ、計画中間段階での計画の見直しは不可欠なものです。

平成24年3月に「水道事業基本計画(地域水道ビジョン)」を改訂してから4年が経過しました。今回の改訂では、図7-1に示す Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Action(見直し)という PDCA サイクルを活用し、施策の進捗状況と併せて事業の成果や効果を把握し、計画の見直しを図ります。

また、前回同様、水道事業ガイドラインの業務指標等を活用し、具体的な数値目標を設定しました。水道事業ビジョンの基本理念やこれらの数値目標を企業団職員が共有し、主要施策を計画的に実行します。

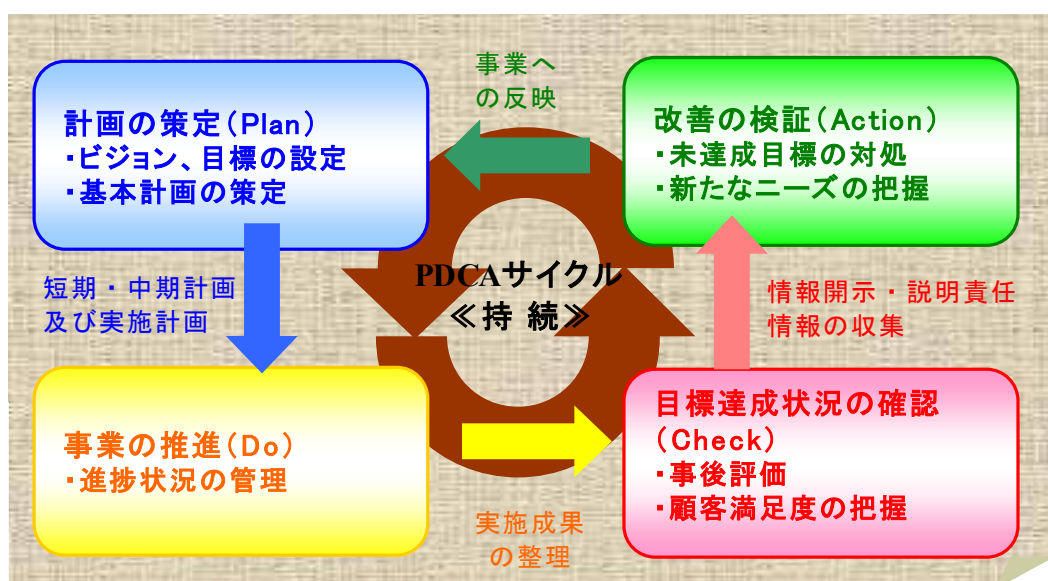


図 7-1. PDCA サイクル

水道事業基本計画（水道事業ビジョン）

桶川北本水道企業団

〒364-0013 埼玉県北本市中丸 6-83

TEL: 048-591-2775

FAX: 048-592-9232

goiken@water-okekita.jp

